

平成19年度

# 5 学年 家庭科 授業計画

広島市立 石内小学校

## 教科の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、家庭生活への関心を高めるとともに日常生活に必要な基礎的な知識と技能を身に付け、家族の一員として生活を工夫しようとする実践的な態度を育てる。

## 評価の観点

- ・衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、家庭生活を支えているものが分かり、家庭生活の大切さに気付く。
- ・製作や調理など日常生活に必要な基礎的な技能を身に付け、自分の身の回りの生活に活用できる。
- ・自分と家族などのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする。

## 評価の方法

テスト、実技、ノート(プリント)、授業態度(発表など)

## 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	見つめよう 家庭生活	・自分の1日の生活をふり返り、さまざまな課題をもって、家族に協力しようとする。 ・自分の生活時間をふり返り、できる仕事を分担したり、家族とふれ合いの時間をもっと創意工夫したりする。 ・家族の一員として責任をもって仕事を分担・実行できるとともに、家族とのふれ合いや団らんをもつ。 ・家庭には自分や家族の生活を支える仕事があることが分かり、家族の一員としてそれを分担することの大切さを理解する。
	料理って楽しいね！おいしいね！	・日常の食生活や調理に関心をもつ。 ・調理の手順や、食品に合った調理の仕方を工夫する。 ・調理実習の進め方や、安全で衛生的な調理の仕方の基本が分かり、「ゆでる」調理と「いためる」調理をする。 ・食品の体内ではたらきが分かり、いろいろな食品を組み合わせる食べることの必要性を理解する。
後期	ぬって使って楽しい生活	・布を用いて生活に役立つ物を製作することに関心をもち、活用しようとする。 ・生活に役立つ布製品を考え、材料や形など、自分なりに工夫してつくる。 ・生活に役立つ布製品の製作計画を立て、裁縫用具やミシンを安全に使ってつくる。 ・裁縫用具やミシンの安全な取り扱い方、および、製作に必要な材料や手順、方法を理解する。また、家族の生活に役立つランチョンマット、エプロンなどの製作の仕方を理解する。
	くふうしよう かしこい生活	・身の回りの整理・整とんを通して、物の使い方や買い方に関心をもつ。 ・身の回りを快適に整えたり、地域・環境に配慮した生活の仕方を工夫したりする。 ・整理・整とん、掃除の手順、不用品の活用の方法や適切なごみの始末の仕方、計画的な物の使い方や買い方を理解する。